

陸上運動部部便り

2004 年 5 月号

関東インカレ・国公立戦

目 次

1	関東インカレ	1
1.1	監督の言葉	1
1.2	主将の言葉	2
1.3	女子主将の言葉	2
1.4	試合経過	2
1.5	試合結果	7
2	国公立戦	11
2.1	監督の言葉	11
2.2	試合経過	11
2.3	試合結果	16
3	2004 年度部内 5 傑 2004.5.22 現在	20
4	主務より	21

1 関東インカレ

1.1 監督の言葉

35 点で 7 位 監督 八田 秀雄
関東学生は 5 月 14-17 日に横浜国際競技場で行われました。3 日目が雨でしたが天候はまずまずでした。今回は 16 年ぶりに 4 日連続で行われました。六大戦の結果がよくなく厳しい状況でしたが、4 月中旬からの記録会で標準を切って参加できる選手が多く出た上に、米田の 100m 東大新といった好記録もあり、雰囲気よく迎えることができました。1 日目は院生の藤原が 2m01 で走高跳 2 位。4 × 100mR も順調、4 × 400mR は決勝残れずも 3 分 18 秒台。10000m では新人松本が途中で日本人集団のトップを引っ張る走りで 30'03"94 の 16 位。悪くなく 2 日目へ。しかし米田の 200m、藤田の三段が入賞できず波に乗れません。院生石井が 800m で 1'54"40 の自己

ベストで 8 位。棒高跳が記録なしの島田も最後まで健闘して 8 位といいこともありましたが、2 日目終わって 9 点と苦しくなります。3 日目も大量点が期待された走幅跳が藤田の 7m13 で 3 位の 6 点のみ。円盤投で合田が 36m41 の自己ベストの 6 位や 4 × 100mR が 41 秒台で 6 位といい結果もありましたが、3 日目終わって 21 点では 1 部は無理です。4 日目は春木の競歩が 2 位。米田の 100m が 2 位 10'74 と、表彰台が続きました。また 5000m の松本は後ろから追いついていくレース展開ができ、あともう少しで点が取れる 10 位 14'30"82。最終日はよかったのですが、結局総合 35 点で 7 位。4 月後半の盛り上がりはかつてないほどでしたし、記録的にもよくはやっているのですが、1 部に行くには取るべき点が取れなかったという感じでした。女子はまず塩入が 400mH で 62'06 の大幅自己新。あともう少しで決勝という好記録で日本学生標準も切りました。800m の目黒も最後粘って 2'16"40 の大学ベスト。新人本間が棒高跳で 3 回目にクリアーする粘りの 3m00 で 14 位。女子は出場した 3 人全員が東大新を出すという好結果でした。この他大学院チームで出た棒高跳の川添が 5m00 をクリアーして初の 1 位をとったのもうれしい結果でした。1 部へは城西と平成国際が上がりました。平国の 58 点は絶対届かない点数ではありませんでした。2 部落ちは慶応と学芸。私自身去年の降格から何となく心に空白というか、関東インカレに対して弱気になっていたように思います。これから 1 年この結果を反省し、「すべてのことは 1 部に通ず」ということを何度も言っていきたいと思います。

1.2 主将の言葉

主将 式場健太

去る 5 月 14 日～17 日、横浜国際競技場にて第 83 回関東インカレが開催されました。男子は、一昨年以来の 1 部昇格が狙える陣容でしたが、ふたを開けてみると思ったように得点が伸びず、35 点で総合 7 位。選手各自がベストパフォーマンスをすれば総合 2 位の平成国際大にも届かないことはなかっただけに、悔しい結果となりました。そんな中でも、2 年の合田や 1 年の松本をはじめとして下級生の活躍が目立ったのが収穫でした。来年以降は彼らが主力選手として部を牽引してくことが期待されます。まだまだシーズンは続いていきますので、OB・OG の皆様におかれましては、よりいっそうのご声援のほどをよろしくお願いします。

1.3 女子主将の言葉

女子主将 塩入敦子

今年の関東インカレは女子 3 名が個人種目で出場いたしました。決勝進出、対校得点獲得こそありませんでしたが、3 名とも自身のもつ東大記録を更新するというパフォーマンスを見せました。この結果は周囲の選手にもよい刺激となったようで、関東インカレから中 4 日で行われた国公立戦では、関東インカレに出場しなかった選手全員が自己ベストを更新するという内容で、七大会に向けてのいい弾みになりました。相変わらずの選手層の薄さなどまだ改善すべき点がありますが、試合に対しての意識も高く、例年以上に強い女子チームの活躍をお伝えできるのではないかと私自身も楽しみにしております。最後になりましたが、関東インカレ期間中、多くの OB・OG の皆様に応援に駆け付けていただき、ありがとうございました。今後とも熱いご声援をよろしくお願い致します。

1.4 試合経過

トラック 1 日目 (5/14)

11:10 女子 400mH 予選

3 組 1 レーンに塩入 (4 年) が出場。上々のスタートを切り、順調に加速する。逆足を使っ

た 4 台目からやや乱れたが、粘りの走りでスピードを維持し徐々に順位を上げ、最終ハードルを越えてから更にスパートすると前の選手に 100 分の 1 秒差で競り勝ち 3 着でフィニッシュ。予選通過ラインに 0.15 秒及ばなかったものの自身の持つ東大記録を 1 秒以上更新する 62"06 をマークし、全日本インカレ標準も突破した。

12:05 2 部男子 4 × 100mR 予選

2 組 9 レーンに、瀧山 (2 年)-米田 (3 年)-相川 (2 年)-式場 (4 年) の走順で出場。瀧山は順調にスタートを切ると、9 レーンの不利さを感じさせない走りで米田につなぐ。米田が力強い走りで後続を引き離すと、バトンを受けた相川もきっちりと仕事をこなし、アンカーへつなぐ。式場はアキレス腱の怪我也有り後半は流したが、3 着で準決勝進出を決めた。予選ということもあり全体的に無難なレースだったが、東大歴代 11 位に入る 41"97 という記録であった。

14:15 2 部男子 4 × 400mR 予選

2 組 7 レーンに、伊勢田 (2 年)-堀内 (6 年)-田中佑 (3 年)-石井 (M1) の走順で出場。伊勢田は 1 つ内側の選手に先行を許すも、落ち着いた走りで最後までスピードを維持して 2 走へ。堀内は集団の後方でチャンスをうかがうが、抜け出すことはできず集団のままリレーする。田中佑は序盤一気に加速し、予選通過順位となる 3 位まで上昇したが、終盤大きく失速し 6 番手であつた。石井は徐々に差をつめ 2 人をかわすと更に前を狙うが、やや及ばずそのまま 4 着、3'18"82 でゴール。400m の自己記録から考えると上々の結果であったが、決勝進出はならなかった。

15:05 2 部男子 10000m 決勝

宮崎県小林高校在学中に、都大路の 1 区を走ったことのある 1 年松本の出場。ケニア人留学生が 2 分 50 秒/km のペースで独走したのに対し、松本を含む日本人選手は 2 分 55 秒～3 分 00 秒/km の安定したペースで 6000m 過ぎまで大集団を形成する。6000m 過ぎには 3 位集団を引っ張る積極的な走りを見せたが、8000m 以降は直前に引いた風

邪の影響もあって3分05秒/kmにペースを落とし集団から徐々に離されてしまった。その後は粘りのレースでラスト1000mも3'05でカバー。結局30'03"94(歴代3位)の16位でゴールした。近年、競歩を除く関カレの長距離種目においてエントリーすらできていない状況が続いていたが、入賞こそ果たせなかったものの松本の走りは部全体に勢いを与えるものであった。

トラック2日目(5/15)

10:25 2部男子200m 予選

1組3レーンに米田(3年)の出場。スタートから順調に加速し外側の選手をとらえ、好位置で直線に出る。しかし後半は伸びがなく、徐々に後退してしまう。結局6着22"12(+0.5)で決勝進出はならなかった。上位入賞が期待されていた種目だけに残念な結果となった。

11:50 2部男子800m 予選

石井(M1)の出場。石井は今季好調で、前日のマイルリレーでも快走を見せており好記録が期待された。9レーンからスタートし、オープンになると積極的に前に行き、200m付近では2番手につける。そこからレースは石井を含む前3人が後ろを離す展開となり、石井は2番手を維持しながら400mを54"47で通過。500m付近で一つ順位を下げるが、最後までしっかり粘って、1'54"40の3着でフィニッシュ。プラスの1番手で見事目標の決勝進出を果たした。

12:05 女子800m 予選

1組8レーンに目黒(4年)の出場。スタート直後から日本記録保持者の西村(東学大)を先頭とする集団が形成された。目黒は遅れをとってしまうが100m付近から徐々にスピードを上げ、180m付近で集団に追いつく。そのまま流れに乗ってついていき400mを64"8で通過。2周目に入り徐々に集団から遅れだしたが、大きくペースを落とすことはなく粘りの走りをみせ、ラストで1人かわし自身の持つ東大記録を更新する2'16"40の7着でゴールした。決勝に進出することはできず、他大学の選手との力の差を実感

するレースとなった。来年度の出場で雪辱を期待したい。

12:35 2部男子400m 予選

3組8レーンに堀内(6年)が出場。苦手なスタートを無難にこなすと序盤から積極的に攻め、9レーンの選手をあっさりかわす。後半は得意の粘りの走りが見られるかと思われたが、コーナーの出口あたりからずるずると遅れてしまう。最後の関東インカレの舞台で何とか意地を見せようと懸命に走るが及ばず8着50"65であった。

15:30 2部男子800m 決勝

石井(M1)の出場。真っ先にトラックに出て軽く走ると、仁王立ちしてコースを見つめた。最も内側の2レーンからスタートし、オープンになると一旦は先頭に出たが、200m付近で集団の中頃まで後退。けっして速いペースではなかったが、そこからも徐々に後退していった。400mは57"97で通過。550m付近で8番手になり、一つでも順位を上げようと死力を尽くしたが2'00"84の8位でフィニッシュ。予選の疲れが残っているようなレースはできなかった。

トラック3日目(5/16)

10:25 女子400m 予選

1組1レーンに塩入(4年)の出場。スタート直後から3、4レーンの選手が飛び出し、やりづらい展開となる。中盤で2レーンの選手をとらえるが、先頭集団との差はかなり開いた状態でホームストレートへ出てくる。後続の追い上げを粘りで振り切り、6着58"80でゴールした。

11:30 2部男子100m 予選

2組6レーンに米田(3年)の出場。好スタートで飛び出すが中盤は伸びを欠く。何とか3着に食い込み準決勝進出を決めた。記録は10"95(±0.0)であった。4組7レーンに式場(4年)の出場。足の故障を抱える式場はスタートで出遅れてしまう。2時間半後にリレーの準決勝が控えていることもあり、無理はせず11"14(+0.1)の7着でゴール。

14:00 2部男子 4 × 100mR 準決勝

2組8レーンに予選と同じく瀧山(2年)-米田(3年)-相川(2年)-式場(4年)の走順で出場。フライングがあり、緊張感の高まる中、瀧山は落ち着いて飛び出し米田につなぐ。米田は前日の200m予選落ちの悔しさを振り払うような見事な走りで他大学を引き離し、上位でバトンパスは3走へと渡る。相川は息の合ったバトンパスからぐいぐい加速し最高の走りを見せると、式場へのバトンパスも絶妙で、ここで3位に浮上。式場はアキレス腱の痛みを必死でこらえ、逆に前を行く作新学院大を追い詰める粘りの走りを見せる。41秒72で3着に入り、3年振りの決勝進出を決めた。予選の記録を上回る、東大歴代5位の好記録であった。

14:35 2部男子 110mH 予選

雨に向かい風という悪コンディションの中、4組3レーンに田中啓(4年)の出場。一歩目ですべり、やや出遅れる。体格を生かしたハードリングで徐々にペースを取り戻し上位に浮上したが、最終ハードルでバランスを崩してしまう。結局15"50(-0.8)の5着で、0.11秒差で準決勝進出を逃した。5組2レーンに梅沢(2年)の出場。スタートでやや出遅れ、徐々に差をつけられてしまう。しかし中盤以降何とか持ち直し、懸命の走りを見せる。6着ではあったが、15"80(-1.3)の大幅自己新をマークした。

16:40 2部男子 4 × 100mR 決勝

3レーンに瀧山(2年)-米田(3年)-相川(2年)-式場(4年)の走順で出場。瀧山はスタートはまずまずであったが徐々に引き離されてしまう。2走へのバトンパスがやや詰まり、米田が懸命の追い上げを見せるもやや後方でバトンは相川へ。疲れの見える相川であったが、集中力を切らさず順位を維持してバトンをつなぐ。式場は必死で追い上げ差をつめるが及ばず、6位41"94でフィニッシュ。雨の降りしきる中、準決勝から2時間半あまりというコンディションでやや疲れが見られたが、この種目3年振りの入賞を果たした。

トラック 4 日目 (5/17)**10:00 2部男子 1500m 決勝**

2組目に新井(2年)の出場。序盤は集団の1番後ろにつけて様子を伺う。1周目は66秒とややスローペースでレースは進む。400mから500mにかけての直線で予定どおり集団の真ん中あたりに浮上。このままレースは順調に進むかと思われた。ところが残り2周のところで前を走っていた選手の転倒に巻き込まれてまさかの転倒。起き上がるのに手間取り集団から遅れてしまう。そのまま集団に追いつくことができず1人取り残されるになってしまったが、最後まで諦めず走りきり4'14"45の15着でゴールした。初出場の関カレで非常に残念な結果となってしまったが、来年の関カレではぜひとも活躍してもらいたい。

10:40 2部男子 100m 準決勝

1組2レーンに米田(3年)が出場。得意のスタートでリードを奪うと、中盤からは粘りの走りで持ちこたえ、10秒90(+1.3)の2着でゴール。見事決勝進出を決めた。

12:00 2部男子 10000W 決勝

後藤(M2)、春木(5年)、深尾(2年)の出場。高温多湿の悪コンディションの中、定刻通り12時に1部2部同時にスタート。2部出場の選手は15人。春木はスタート直後、集団後方につける慎重な入り。レース序盤から中盤、周りのペースが落ちてくる中、1km4'20"程度のラップを堅実に刻み、徐々に順位を上げ中盤で2位に躍り出る。しかしトップとの差は大きく前を追いきれない。終盤は追い上げてきた城西大の選手と競り合う展開になったが、ラストの直線で振り切り、45'03"89の2位でゴール。優勝タイムは43'25"23。自己ベストには届かなかったが歴代4位に相当する好記録。一昨年の3位に続き2回目の表彰台獲得となった。2年深尾はスタートから集団より大きく遅れる展開となるが、1km5'20"程度のペースを守り、52'43"88の12位でゴール。自己ベストには届かなかったが、初の関カレの舞台で見事完歩を果たした。院登録で出場の後藤はスタートから集団よりやや離れる展開になるが、1km4'50"程度の堅実な歩きで10番手あたりにつける。

しかし、4000mと6000m過ぎに警告を受けたあと、8800mあたりで3枚目の警告を受け失格となり、惜しくも完歩ならなかった。この種目で東大は7点を獲得し、例年通り長距離種目ただひとつの得点源となった。

13:30 2部男子100m 決勝

6レーンに米田(3年)が出場。フライングの後、抑え気味のスタートを切ると、200mでの失敗を修正し、持ち前の加速で追い上げる。熾烈な2位争いを制し、10"74(+1.1)の2位。4日間で計7本の過密スケジュールも何とかこなし、今後の更なる活躍が期待される結果を残してくれた。

14:00 2部男子5000m 決勝

松本(1年)の出場。松本は高校ベストが14'46"で、先月29日の日体大記録会で14'42"を出して標準記録を破っていた。気温24℃、湿度83%の蒸し暑い中、松本は内側の第1グループから集団後方につけてスタートをした。自分でも良いスタートが切れたという。関カレの舞台らしい序盤から速いペースで、すぐに縦に細長い集団ができた。松本は1000m:2'46"、2000m:5'36"と、速いペースを刻む集団の後方に付ける。3000mあたりから集団の中の数人の選手がペースを上げる一方で、スピードが落ち始める選手が多くなり、集団はバラけるが、松本はここで粘り強く自分のペースを守って、落ちてくる選手を1人また1人と抜いていった。本人もここで入賞圏内を目指して抜いていったと振り返るが、4200mあたりで前に行く集団以降では先頭に立ち、そのまま14'30"82の10位でゴール。見事に受験のブランクを乗り越えての自己ベストだった。

フィールド1日目(5/14)

10:30 2部男子走高跳決勝

藤原(M2)、田中(4年)、宮(2年)の出場。今大会最初のフィールド競技であり、今後の競技に弾みをつけたいところである。田中、宮が1m85から試技を開始。宮はこれを1回でクリアしたが田中はこれをクリアできず、記録なしであった。1m90から藤原も競技を開始。藤原はこれを一発でクリア、

宮は3回目でこれをクリアした。1m95も藤原は1回目でクリア。宮は惜しい跳躍も見せたがクリアできず、1m90の自己ベストで13位であった。1m98、藤原の1回目は失敗。しかし、2回目には1回目の失敗点を修正し、これをクリアした。2m01も跳躍の高さを上げ、2回目でクリアしたが、2m04はクリアできず、惜しくも2位であった。

10:30 2部男子砲丸投決勝

岡野(D3)が出場。練習投擲の立ち投げから10mを越え、調子は悪くなさそう。しかし1投目は投げる方向と砲丸の動く方向がかみあわずすっぽ抜け。2投目はグライドの後腰が抜け、3投目は腰は入ったもののグライドの直後に軸が完全に立ってしまい砲丸を十分に加速できない。結局記録は1投目の11m03に終わり、19位であった。

12:00 女子棒高跳決勝

本間(1年)の出場。自己ベスト3m20を持つ今季期待の1年生。2m50から開始。最初は危なげない跳躍をし、1試技目で跳べた高さは一つもないものの、跳ぶたびに徐々に調子を取り戻していき2m50から10cm刻みに3m00まで跳ぶ。3m10は疲れが見え始めたのか助走にスピードがなくポールがしっかり立たずに失敗。3m00の14位に終わった。

フィールド2日目(5/15)

13:30 2部男子三段跳

藤田(4年)、佐野(3年)が出場。シーズンインからスピードに乗った助走ができずに不調が続いていた佐野は助走スピードが戻ってきたものの、余裕のない助走になってしまい、うまく踏み切りに持っていけない。1跳目はバランスを崩して12m90。2跳目もステップで潰れて13m21。3跳目もファールとなり、18位に終わる。一方、藤田も強い向かい風に悩まされ、思い通りの助走ができない。1跳目はファールになり、2、3跳目に修正しようとするが、いずれも踏切板の手前からの跳躍となってしまう、それぞれ13m94と13m85に終わる。結果15位でベストエイトには残れなかった。藤田にとっ

ては最後の関東インカレで高得点も期待されていただけに悔しい結果であった。

フィールド 3 日目 (5/16)

10:00 2 部男子ハンマー投決勝

岡野 (D2)、出口 (M2)、小笠原 (M1) の出場。岡野は 1 投目に 33m23 を投げ、その後投げ方の修正を試みるが記録は伸びず 15 位に終わった。出口は 1 投目こそファールになるものの、2 投目、3 投目に 40m を超える投擲をし 8 番手で 4 回目以降の試技に進んだ。5 投目に 41m90 と記録を伸ばし順位を 7 位に上げ 3 年連続入賞を果たした。小笠原は 1 投目は慎重に投げ 40m08 の記録を残す。しかし、2 投目は力んでハンマーが地面とチップして、3 投目は緊張のためハンマーのスピードを上げることができず低調な記録のまま無念の 9 位に終わった。

14:30 2 部男子走幅跳決勝

藤田 (4 年)、吉岡 (4 年)、竹内 (2 年) の出場。藤田は着地の姿勢がうまく決まらず苦しい跳躍だったが 1 本目に 7m13 を跳び 3 位に入った。吉岡は 1 本目の跳躍で軽く足を捻挫してしまい、その影響か 3 本目に 6m72 を跳ぶのが精一杯、結果 11 位でエイト漏れ。竹内は 1 本目に 6m77 を跳びその後記録を伸ばすかには見えたが結局そのまま 3 本目に逆転を許し 9 位でエイト漏れとなってしまった。大量得点が期待された種目だっただけに悔いの残る結果であった。

14:30 2 部男子円盤跳決勝

出口 (M2)、星 (M1)、岡本 (M1)、合田 (2 年) の出場。雨天のため、足下が大変滑りやすく、ファールの続出する試合となった。出口は 3 投目までを無難にまとめ、5 位でベストエイトに進出。後半はさらに記録を伸ばすが順位は変わらず、36m98 の 5 位で競技を終了した。岡本は、雨の中実力を発揮することができず、29m40 と、やや不本意な記録で終わった。星は 2, 3 投目にダイナミックな投擲をみせるが、雨のためか記録を残せず、3 投ともファールで終わった。合田は 3 投目に自己ベストとなる 36m41 を投げ、4 位でベストエイトに進出。しかし、そ

の後は記録を伸ばせず、最終的に 6 位で終わる。

フィールド 4 日目 (5/17)

10:00 2 部男子棒高跳決勝

川添 (M2) の出場。強風が吹き荒れる厳しいコンディションであったが、4m60 から跳び始めた川添は、4m60、4m80 を難なく一回でクリアーする。続く 4m90 は二回目でクリアー。この時点では 4m90 を一回でクリアーした群馬大学の選手について 2 位であった。しかし実力で勝る川添は、ただ一人 5m00 を 2 回目にクリアーし、見事初優勝をきめた。

12:30 2 部男子やり投決勝

岡野 (D2)、池田 (4 年) の出場。池田は 1 投目に自己ベストに迫る投擲をするが、惜しくもファール。結局 47m03 でエイトもれであった。岡野は 2 投終わった時点ではエイトラインに届かない記録であったが、3 投目に 55m 代を投げエイトに残った。さらに 5 投目にも記録を伸ばし、58m30 で 5 位を 5cm 差でかわしての 4 位であった。

混成競技

2 部男子混成 (5/14-5/15)

男子混成競技には島田 (M1) の出場。投擲 3 種目で出場者中 1 位の記録を残すなど健闘を見せたが、棒高跳で記録なしに終わったことが響き 4944 点で 8 位であった。

1 日目 (5/14)

10:00 男子混成 100m

慣れないスタートで少々遅れを取ってしまうが落ち着いて加速し、後半も無難にまとめてゴール。タイムは 11"97(657 点)でまずまずのスタートをきった。

11:20 男子混成走幅跳

ベスト記録が 5m91 と経験の浅い種目であるが、6m を跳んで勢いをつけたいところ。踏み切り板の手前からの跳躍ながら 2 跳目に 5m87(559 点)を残すも 3 跳目も記録を伸ばせず、6m 越えはならなかった。

12:40 男子混成砲丸投

投擲は得意種目であるので得点を稼ぎたいところである。1 投目に自己ベストとなる 10m62 を投げ、出場者の中でトップとなる 523 点を獲得した。

14:30 男子混成走高跳

10 種目の中では最も苦手な種目である。開始の高さである 1m45 から跳び始め、続く 1m50 と合わせて 1 回でクリアするも 1m55 は跳べず、結局 389 点と得点を伸ばせなかった。

17:10 男子混成 400m

持ちタイムに勝る他選手がハイペースのレースを展開していく中、島田は自分のペースを守りきり 54"75(609 点)とまずまずのタイムでゴール。初日は 2737 点の 7 位と 3 位グループから 300 点ほどの差で折り返したが、2 日目に多くの得意種目を持つ島田にとっては逆転に期待のもてる位置につけた。

2 日目 (5/15)

9:30 男子混成 110mH

島田はこの種目をやや苦手としているが初日の疲れを感じさせないハードリングを見せ、自己記録とほぼ同じである 17"74(549 点)で走りきり次につなげた。

10:20 男子混成円盤投

関カレ A 標に迫る記録を持つ得意種目であり、他の選手と差をつけたいところ。1 投目に自己記録に近い 33m79(540 点)を投げ 2 位以下に 3m 以上の差をつける好記録を残した。

12:10 男子混成棒高跳

2 週間前の記録会でも 4m は十分高さが出ており、2 日目にしてはこれまでになく体の動く今回は 4m 以上の跳躍で得点を稼ぎたいところ。試技は安全のために 3m40 から開始したが、ポールが曲がらずいきなり 2 回失敗して追い込まれてしまう。3 回目も高さは十分であったがわずかに体があたってしまい無念の記録なしであった。

15:10 男子混成やり投げ

棒高跳の失敗により総合得点での勝負は厳しくなってしまったが、投擲 3 種目での 1 位を達成するべく力投を見せる。1 投目に 47m 台の記録を残すと、2 投目に自己ベストに迫る 47m53 まで記録を伸ばしトップとなる 552 点を獲得した。

16:50 男子混成 1500m

3 月の記録会では 5 分 40 秒程度の走りしかできていなかったが、2 週間前の記録会では 5 分 3 秒で走っており今回は 4 分台が期待された。他の選手が最初の 100m を 15 秒程のタイムで通過する中、島田は 1 周 80 秒のペースを守り続けて 4'58"86 のタイムでゴール。十種目の合計得点は 4944 点に終わったが、8 位入賞を果たした。

1.5 試合結果

第 83 回関東学生陸上競技対校選手権大会

於 横浜国際総合競技場 (H15.5.16-18)

2 部男子 100m 決勝 (+1.1)			
1	圓谷一敏	城西大	10"57
2	米田武史	東大	10"74
3	三屋智史	順大院	10"81
4	加藤祐介	青学大	10"83
5	杉山剛士	作新学大	10"84
6	大友俊介	城西大	10"86
7	小俣尚也	武蔵丘短大	11"22
8	上村英樹	山梨大	DNS

2 部男子 100m 準決勝 (4 着)			
1 組 (+1.2)			
2	米田武史	東大	10"90

2 部男子 100m 予選 (3 着 +1)			
2 組 (+0.0)			
3	米田武史	東大	10"95
4 組 (+0.1)			
7	式場健太	東大	11"14

2 部男子 200m 決勝 (+1.2)			
1	楠田利一	立大	21"88
2	徳永剛	横国大	21"88
3	金子友二	東経大	21"92
4	松本博	群大	22"04
5	小池裕之	宇大	22"10
6	田久保篤	駒大	22"23
7	楠田利一	立大	22"44
8	横山喜之	茨大	22"48

2 部男子 200m 予選 (3 着+2)			
1 組 (+0.5)			
6	米田武史	東大	22"12

2 部男子 400m 決勝			
1	宮本純	宇大	47"68
2	海寶正之	千商大	48"11
3	徳永剛	横国大	48"17
4	伏見一	東農大	48"42
5	高橋宏輔	学習院大	48"66
6	沼田直人	平成国大	49"37
7	森正樹	東学大院	49"60
8	松本博	群大	50"88

2 部男子 400m 予選 (3 着+4)			
3 組			
8	堀内壮太	東大	50"65

2 部男子 800m 決勝			
1	安西アルトウ	城西大	1'54"16
2	恒吉奨	大東大	1'54"47
3	中村哲也	城西大	1'54"68
4	阿久津浩之	亜大	1'54"96
5	笹谷甲	大東大	1'54"98
6	中間和洋	平成国大	1'55"93
7	福田涉	千商大	1'56"25
8	石井康雄	東大	2'00"84

2 部男子 800m 予選 (2 着+2)			
2 組			
3	石井康雄	東大	1'54"40

2 部男子 1500m 決勝			
----------------	--	--	--

1	大坪裕樹	駒大	3'50"64
2	清水健司	帝京大	3'53"55
3	笹谷甲	大東大	3'53"58
4	中原健太	神大	3'53"84
5	角裕	帝京大	3'55"37
6	古川茂	大東大	3'57"34
7	宮崎隆春	拓大	3'57"42
8	早川真吾	東農大	3'57"95

2 部男子 1500m 予選 (5 着+2)			
2 組			
5	新井邦生	東大	4'14"45

2 部男子 5000m 決勝			
1	J.M. ダビリ	流経大	13'31"94
2	S. ジェンガ	平成国大	14'07"55
3	三島慎吾	國學院大	14'07"89
4	中尾誠宏	帝京大	14'13"63
5	上村智祐	拓大	14'17"06
6	田上貴之	城西大	14'18"87
7	加藤健一朗	拓大	14'20"98
8	中安秀人	城西大	14'26"11
10	松本翔	東大	14'30"16

2 部男子 10000m 決勝			
1	J.M. ダビリ	流経大	28'17"63
2	三島慎吾	國學院大	29'30"65
3	S. ジェンガ	平成国大	29'33"79
4	清水大輔	神大	29'33"94
5	齋藤弘幸	駒大	29'34"67
6	佐藤慎吾	駒大	29'38"27
7	中尾誠宏	帝京大	29'42"85
8	加藤健一朗	拓大	29'44"41
16	松本翔	東大	30'03"94

2 部男子 110mH 決勝 (+1.2)			
1	八幡賢司	順大院	14"13
2	染谷孝広	東農大	14"70
3	笈川貴行	東都大	14"16
4	齋藤正孝	城西大	14"99
5	中村政道	神大	15"09
6	鈴木直哉	城西大	15"13
7	山藤大士	千葉大	15"14

8 大谷智哉 青学大 DNF

2 部男子 110mH 予選 (3 着+1)

4 組 (-0.8)

5 田中啓 東大 15"50

5 組 (-1.3)

6 梅沢啓 東大 15"80

2 部 10000W 決勝

1 山根千尋 創価大 43'25"23

2 春木洋輔 東大 45'03"89

3 清水恭平 城西大 45'08"51

4 寺地裕助 平成国大 45'25"65

5 大越洋志 城西大 46'06"09

6 大野友之 清和大 46'09"47

7 窪田利彰 東農大 46'53"16

8 南裕太 平成国大 47'11"54

12 深尾寅彦 東大 52'43"88

14 後藤理 東大院 DNF

2 部男子 4 × 100mR 決勝

1 東経大 41"05

2 一橋大 41"21

3 城西大 41"21

4 作新学大 41"52

5 平成国大 41"85

6 東大 41"94

(瀧山-米田-相川-式場)

7 横国大 42"06

8 神大 42"16

2 部男子 4 × 100mR 準決勝 (4 着)

2 組

3 東京大学 41"72

(瀧山-米田-相川-式場)

2 部男子 4 × 100mR 予選 (3 着+4)

2 組

2 東京大学 41"97

(瀧山-米田-相川-式場)

2 部男子 4 × 400mR 決勝

1 千商大 3'12"86

2 東農大 3'12"94

3 東経大 3'13"18

4 宇大 3'14"04

5 横国大 3'15"72

6 群大 3'16"42

7 電通大 3'16"63

8 学習院大 3'16"82

2 部男子 4 × 400mR 予選 (2 着+2)

2 組

4 東京大学 3'18"82

(伊勢田-堀内-田中佑-石井康)

2 部男子走幅跳決勝

1 鈴木剛 埼大 7m27(+0.9)

2 岩田学 順大院 7m27(+0.5)

3 藤田靖浩 東大 7m13(+1.7)

4 宮崎年史 城西大 7m03(+0.4)

5 渡部敬大 千商大 7m02(-1.1)

6 江木俊輔 国土大院 6m90(+2.0)

7 宮腰越生 明海大 6m88(+0.6)

8 岡田匠 上武大 6m83(-0.8)

9 竹内昌男 東大 6m77(+0.7)

11 吉岡和夫 東大 6m72(+0.5)

2 部男子三段跳決勝

1 柴幸行 上武大 15m34(-0.5)

2 川幡俊行 明海大 15m16(+0.1)

3 木下大輔 城西大 15m15(-0.6)

4 小池孝洋 神大 15m08(-0.3)

5 渡部真樹 群大 14m86(+0.4)

6 拂川真寿 平成国大 14m53(+0.1)

7 矢代翔一 千商大 14m40(-0.6)

8 大泉直人 駒大 14m38(-1.2)

15 藤田靖浩 東大 13m94(-1.3)

18 佐野太郎 東大 13m21(-2.4)

2 部男子走高跳決勝

1 中矢敬大 武蔵大 2m04

2 藤原啓 東大院 2m01

3 宮圭祐 作新学大 2m01

4 是枝憲 東経大 1m95

5 保坂洋仁 都留文大 1m95

6	猪ノ原達弥	平成国大	1m95
7	深代武志	城西大	1m95
8	梅田智明	平成国大	1m90
8	遠藤哲哉	埼大	1m90
8	神尾大樹	平成国大	1m90
13	<u>宮正彦</u>	東大	1m90
-	<u>田中啓</u>	東大	NH

2 部男子棒高跳決勝

1	<u>川添雄太</u>	東大院	5m00
2	高田武蔵	群大	4m90
3	稲垣圭吾	群大	4m80
4	神尾大樹	平成国大	4m70
5	林達也	宇大	4m30
6	池和田克彦	東経大	4m10
7	穴澤慶	上武大	4m10
8	柴本鋼平	東情大	4m10
-	<u>島田俊雄</u>	東大	DNS

2 部男子砲丸投決勝

1	保田豪	国土大院	15m69
2	海老原大輔	茨大	14m52
3	相京優也	群大	14m39
4	鈴木規之	城西大	13m20
5	室永豊文	国土大院	12m45
6	瀬戸山正隆	東経大	12m28
7	横山真吾	平成国大	12m15
8	松本有剛	玉川大	12m03
19	岡野浩行	東大院	11m03

2 部男子円盤投決勝

1	保田豪	国土大院	50m64
2	坂上由明	上武大	41m25
3	根本良平	上武大	37m60
4	沼沢裕太	神大	37m13
5	<u>出口雅俊</u>	東大院	36m98
6	<u>合田隆彦</u>	東大	36m41
7	酒寄信行	宇大	35m20
8	山川翔	城西大	34m39
-	<u>星大樹</u>	東大院	NM

2 部男子ハンマー投決勝

1	保田豪	国土大院	51m51
---	-----	------	-------

2	鈴木規之	城西大	49m61
3	相京優也	群大	48m87
4	関根悠太	城西大	48m33
5	若井祐介	國學院大	46m71
6	舩谷直樹	上武大	45m74
7	<u>出口雅俊</u>	東大院	41m90
8	高橋孝幸	東農大	41m50
9	<u>小笠原義之</u>	東大	40m08
15	<u>岡野浩行</u>	東大院	33m23

2 部男子やり投決勝

1	室永豊	国土大院	69m63
2	保田豪	国土大院	61m43
3	新明健一	茨大	60m26
4	<u>岡野浩行</u>	東大院	58m30
5	村岡慶一	城西大	55m91
6	栗原雅史	神大	55m73
7	安藤定信	城西大	54m65
8	杉原正彦	上武大	54m56
20	<u>池田大行</u>	東大	47m03

2 部男子十種競技

1	神尾大樹	平成国大	6988
2	大久保大和	山梨大	6109
3	山本雅之	都留文大	6045
4	柴本鋼平	東情大	5878
5	塩谷尚之	都留文大	5730
6	二宮聡	平成国大	5547
7	前島奨	日工大	5314
8	島田俊雄	東大	4944

2 部男子総合

1	城西大	88
2	平成国大	58
3	国土大院	46
4	群馬大	42
5	大東大	36
6	東農大	36
7	東大	35
8	神奈川大	35

女子 400m 決勝

1	堀江真由	順大	56"10
---	------	----	-------

2	皆川裕美子	日女体大	56"24
3	宇賀神愛	作新学大	56"73
4	青木由香里	東女体大	56"88
5	岸川朱里	日体大	57"36
6	上原由利子	日女体大	57"40
7	竹本香織	中大	57"80
8	末吉優子	中大	58"89

女子 400m 予選 (2 着+2)

1 組
6 塩入敦子 東大 58"80

女子 800m 決勝

1	西村美樹	東学大	2'05"55
2	岸川朱里	日体大	2'08"00
3	吉野麻里	順大	2'10"91
4	桑城奈苗	筑波大	2'11"28
5	村山いづみ	横国大	2'12"29
6	加藤麗奈	玉川大	2'14"16
7	大谷木霞	城西大	2'14"83
8	前野希代子	東学大	2'18"24

女子 800m 予選 (2 着+2)

1 組
7 目黒亜由子 東大 2'16"40

女子 400mH 決勝

11	能登裕美	青学大	59"02
2	西尾千沙	東学大	59"59
3	石野智恵子	順大	59"62
4	滝田皓美	青学大	60"85
5	荻野真実	都留文大	61"39
6	片岡弥生	日女体大	61"50
7	安楽桂子	東学大	61"62
8	梶田綾子	日体大	62"11

女子 400mH 予選 (2 着+2)

3 組
3 塩入敦子 東大 62"06

女子棒高跳決勝

1	南野弥生	筑波大	3m90
2	中川舞子	早大	3m65

3	吉原礼	筑波大	3m60
4	井桁愛	早大	3m60
5	小宮留美子	日女体大	3m50
6	田中宏美	早大	3m50
7	柏倉晃子	東学大	3m40
8	米田和恵	日体大	3m40
14	本間諒子	東大	3m00

女子総合

1	筑波大	118
2	日体大	89
3	順大	82
4	日女体大	76
5	中大	61
6	国土大	52
7	東学大	52
8	早大	40
26	東大	0

2 国公立戦

2.1 監督の言葉

国公立 監督 八田 秀雄

国公立戦は、5 月 22 日上柚木競技場で行われました。気温が 16 度と低く、午後は小雨になりました。関東インカレからわずかに中 4 日での試合となり、可哀想な日程になってしまい、インカレ選手は種目を絞ったエントリーでした。それでも自己ベストが 16 名出て、成果もありました。特に円盤投で合田が 37m71 の自己ベストを出し 40m も視野に入ってきたのが目立ちました。1 年松本が 5000m で 14'42"51 の大会新を出したのも光りました。七大戦に向けては、中原の 1500m、村田の 5000m、相川の 200m、女子では小原の 100m、向田の 1500m、清水の 3000m などの自己ベストが価値がありました。総合では学芸に及ばず、来年の関東インカレに向けての厳しさが認識されました。今年は 6 月に試合がないので、これから練習期間を十分とって七大戦での好結果に結びつけたいものです。

2.2 試合経過

トラック

9:35 男子 1500m 予選

1 組に新井 (2 年)、千島 (2 年) の出場。序盤は千島が 2 番手につける一方、新井は最後尾で様子見、という展開となった。ペースは 68 秒と遅く、団子状態で一周目を通過。600m 付近より新井が一気に飛び出してトップに立つも、その後再びペースを落とし、終盤にもつれ込む。結局新井は残り 200m で 2 人に抜かれるも、かなり余裕を見て 4'14"69 の 3 着でフィニッシュし、決勝進出。一方、千島は残り 300m 付近より集団から遅れ 4'21"88 の 7 着でのフィニッシュとなったが、プラス 4 人に入り見事決勝進出を果たした。2 組に中原 (3 年) の出場。序盤は集団後方につけ様子をうかがうも、600m 過ぎから前に出て 2 番手につける。2~4 番手が固まるように終盤にもつれ込み、中原は結局 2 人に抜かれるも、後方を確認するという余裕を見せつつ 4'19"24 の 4 着でフィニッシュ。男子 1500m は出場した 3 名がいずれも決勝に進出した。

9:55 女子 100m 予選

2 組 5 レーンに小原 (2 年) の出場。予選ということもあり無難なスタートを見せた小原は、スピードに乗った走り で前との差をつめていく。結局届かなかったものの、2 着 13"27(+1.0) の自己ベストで予選突破を果たした。冬場の休部やシーズン初戦であることを考えれば上出来の結果といえよう。

10:15 男子 100m 予選

1 組 5 レーンに瀧山 (2 年) の出場。関カレで 4 × 100mR の 1 走を務めた瀧山は、試合の間隔が短かったため、疲れが見える走り で 3 着。11"48(+1.1) で何とかプラスで決勝進出を果たした。3 組 5 レーンに三好 (2 年) の出場。三好はまずまずのスタートで飛び出すと、一橋大の西町にびたりとつける。しかし力の差は大きく、中盤から徐々に遅れをとり始め、4 着 11"79(+1.5) で予選敗退であった。4 組 3 レーンに藤本 (1 年) の出場。藤本は低い姿勢からい

い飛び出しを見せたが、1 年生ということもありブランクが長く、徐々に先頭から離されていく。結局 3 着 12"34 で予選敗退であった。

10:50 女子 800m 予選

1 組に向田 (2 年) の出場。向田にとってはこれが大学初の 800m のレースである。各選手の実力差は大きく、序盤より非常に縦長の展開となる。この中で向田は 2 番手の選手につけ、400m を 70 秒で通過。その後も 2 番手の選手に食らいつく粘りを見せる。その後残り 200m 付近からは引き離されるも、結局余裕をもって 3 着でフィニッシュし、決勝進出を果たした。2 組に目黒 (4 年) の出場。予選においては他の選手との実力差は歴然としており、序盤から飛び出るとそのままトップを守り、2'28"70 の 1 着でフィニッシュした。

11:10 男子 800m 予選

1 組に石井 (M1) の出場。集団前方に位置したまま 400m を通過。450m 付近からトップに立つと、その後更にペースを上げる。直線に入ると余裕を見てペースダウンし、近づいてきた 2 選手の動きを確認しつつ 2'00"38 の 1 着でフィニッシュした。2 組に橋本 (2 年) の出場。橋本にとって初の対校戦出場となった。序盤は 5 番手につくと、400m を 60 秒という堅実なタイムでそのまま通過。その後粘りの走りを見せ、残り 300m 付近で 1 人、残り 150m 付近でもう 1 人をかわし、2'01"59 の 3 着でフィニッシュ。プラス 2 名に入り、見事決勝進出を果たした。3 組に庄司 (3 年) の出場。序盤は 2 番手につき前をうかがいつつも、様子見の走りを見せる。400m を 61 秒という遅めのペースで 400m を通過。その後ペースを上げ、残り 150m 付近からトップに立ち、そのまま 2'01"83 の 1 着でフィニッシュ。これにより男子 1500m、女子 800m に続き、男子 800m でも出場選手全員が決勝進出を果たした。

11:30 男子 400m 予選

1組2レーンに小沢(1年)の出場。前半果敢に飛ばし積極的なレースを見せるも、大学デビュー戦ということもありやはり第2曲走路辺りから遅れをとり始め、5着54"15でゴールした。2組2レーンに田中佑(3年)の出場。後半を見据えたゆったりとした走り出しでバックストレートでは順調に加速していった。しかし関カレの疲労もあってか、以降粘りがなく、結局4着53"45であった。3組4レーンに伊勢田(2年)の出場。フライングをするも、順調なスタートをし、バックストレートを軽快に疾走。300m付近で完全に先頭に立ち、後方を確認しながらの余裕の走りで1着51"56で決勝進出を決めた。

11:50 男子 110mH 決勝

5レーンに田中啓(4年)の出場。走高跳と並行しての出場で、少な目のアップで臨んだが、苦手のスタートを無難にこなすと、切れのあるハードリングでレースを引っ張っていく。7台目で抜き足をぶつけてバランスを崩すが何とか持ちこたえて2着15"67であった。この時風はなかった。

12:05 男子 200m 予選

1組6レーンに相川(2年)の出場。関カレの疲労をものともせず、絶妙なコーナーワークを発揮しうまく抜け出すと、直線ではやや先頭から離されながらも自己ベストとなる22"69(+1.2)で3着に入り決勝進出を決めた。2組4レーンに瀧山(2年)の出場。1時間前の100mの疲れもあってかスタートも決まらず、コーナーを抜けても伸びを欠きじりじりと引き離され、そのままゴール。記録は23"28(+0.7)で予選敗退。

12:25 男子 400mH 決勝

2レーンに坂田(2年)、8レーンに磯部(2年)の出場。坂田はスタートこそまずまずであったが、中盤で足が合わず体が浮き上がってしまうミス。そこでのロスが大きく、終盤懸命に追い上げるも63"19の5着に終わった。磯部は1台目で足を引っ掛けてしまい前半なか

なかスピードに乗れない。中盤何とか盛り返すが、8台目で再び大きくバランスを崩し、結局4着62"76であった。

13:45 女子 100m 決勝

4レーンに小原(2年)の出場。スタートから上位争いに加わり、スムーズな走りを見せるが、同時進行の走幅跳の疲れのせいか後半あまり伸びず13"32の3着であった。この時の風は+1.2m。

13:50 男子 100m 決勝

1レーンに瀧山(2年)の出場。スタートで力んで少し出遅れ、中盤でも伸びを欠く。レース間隔が短く疲労があったのか、そのまま失速し、8着11"47(+2.1)に終わった。

13:55 男子 1500m 決勝

中原(3年)、新井(2年)、千島(2年)の出場。まず序盤で新井がトップに出るという珍しい展開となった。新井は400mを62秒という速めのペースで通過。中原も新井の直後をつく積極的な走りをみせ、3番手で400mを通過。一方千島は最後尾で様子見の走りを行う。2周目のうちに次第に前の4名、後ろの8名に分かれ、そのまま800mを通過。その後新井が残り300m付近より仕掛け再びトップに立つも、ラストの直線で1人にかわされ4'03"96の2位でフィニッシュ。中原は前2人のスパートに対応できず終盤で少し離されるも、4'05"24の3位でフィニッシュ。千島は予選同様ラストで崩れるのでは、という不安を吹き飛ばす粘りの走りを見せる。少しずつ順位を上げ、結局4'11"49の6位でのフィニッシュとなった。これにより男子1500mは3名全員が入賞を果たした。

14:20 男子 400m 決勝

2レーンに伊勢田(2年)の出場。まずまずのスタートを切り、スムーズに加速していく。安定した走りで300mを37"4で通過したが、残り100mでフォームが崩れ、5着50"99でゴール。

14:25 女子 800m 決勝

目黒(4年)、向田(2年)の出場。序盤より目黒は2番手、向田は4番手につける展開となり、そのまま400mを通過。向田にとっては400mのベストタイムをも上回るハイペースでの通過となった。その後目黒は500m付近よりトップの選手に離されるも、2'19"24の2位でフィニッシュ。関東インカレから中5日での出場となったことを考慮すれば、よいタイムであると言え、全日本インカレの標準突破に向け幸先のよい走りであった。向田は2周目に入り5番手に後退するも、粘りの走りを続け2'28"20の5位でフィニッシュ。自己ベストを更新し、初の2分20秒台を記録した。

14:40 男子 800m 決勝

石井(M1)、庄司(3年)、橋本(2年)の出場。序盤石井は2番手、庄司は5番手、橋本は最後尾につく展開となる。200m過ぎからは石井がトップを走りレースを引っ張るも、59秒と遅めのペースで400mを通過。庄司、橋本はその間に順位を上げ、3番手、7番手で400mを通過する。その後石井はバックストレートで一時ペースを緩め、4番手にまで後退する。一方2周目に入りペースアップしていた庄司が、残り200m付近でトップに立つ。しかし石井は再度急速に巻き返し、前3人を一気に抜き去って1'59"85の1位でフィニッシュ。庄司はラストで伸びず2'00"50の3位でのフィニッシュとなったが、自分の走りに徹しての結果であった。橋本はそのままの順位を守りきり、2'02"00の7位でフィニッシュした。

14:50 男子 4 × 100mR 決勝

6レーンに瀧山(2年)-米田(3年)-相川(2年)-藤田(4年)の走順で出場。瀧山は、41秒台前半の記録をもつ東学大・一橋大には差をつけられながらも、上位で米田につなぐ。米田が持ち前の爆発的な加速でバックストレートを快走すると、相川はまたもすばらしいコーナーワークで走り抜け、バトンはアン

カー藤田へ。三段跳の競技中での出場ながら集中力を見せた藤田の力走で締め、3着42"78。

15:00 女子 3000m 決勝

清水(2年)の出場。序盤集団後方についた清水は、周囲の選手につき3'52"で1000mを通過。その後前の選手に離され、次の1000mで4'04"とペースを落とす。それでも着実に自分のペースを守り、残りの1000mを3'59"でまとめ、11'55"45の7位でフィニッシュ。見事入賞を果たすとともに、初めて12分を切る快走を見せた。これにより中距離種目では男女ともに出場選手全員が入賞を果たすこととなった。

15:20 男子 200m 決勝

2レーンに相川(2年)の出場。予選以上に積極的な走りを見せ、コーナー出口付近では上位につけるが、4 × 100mR決勝の30分後ということもあり余力がなく、やや失速し4着22"91であった。

15:30 男子 5000m 決勝

宮崎(3年)、村田(3年)、松本(1年)の出場。5月にしてはやや肌寒く、小雨が降る中でのレースとなった。スタート直後から松本が先頭に立つ。序盤から集団が崩れていく中で、村田、宮崎は5位集団につける。2000m手前で先頭が松本と一橋大の鶴野の2人となる中で、松本は1周71"前後の正確なラップを刻み、3400m過ぎからは独走となった。一方、レース中盤で5位集団のペースが1周76"程度に落ち着く中で、村田は集団についていくものの、宮崎は3000m手前で遅れだした。レース終盤になると、松本は、関東インカレの疲れを感じながらも速いペースを維持し、大会記録を15秒近くも更新する14'42"51の1位でゴール。今後、全日本インカレ出場を目指し、記録会で標準(10000m;29'35")突破を狙う。村田は最後まで集団に食らい付き、自己ベスト1"4更新する15'34"47の7位でゴール。宮崎は、3000m以降、走りが重くなり、ラップタイムを1周80"ま

で下げ、15'51"76の11位でゴール。結果的には、この種目で10点を獲得し、まずまずの成果を挙げた。

16:00 女子4×100mR 決勝

4レーンに小原(2年)-津村(4年)-本間(1年)-目黒(4年)の走順で出場。小原は順調なスタートを切り、軽快な走りでバトンをつなぐ。塩入の欠場により急遽代役を務めた津村は、無難な走りで切り抜けたが、バトンパスでもたつきタイムロス。本間は何とか挽回しようと力走するも、目黒へのバトンパスもうまくいかず、練習不足を露呈してしまう。アンカー目黒は堂々とした走りで、先行する外語大をとらえ、3着56"06でフィニッシュした。

16:05 男子4×400mR 決勝

4レーンに伊勢田(2年)-磯部(2年)-小沢(1年)-田中佑(3年)の走順で出場。磯部は他大学からは多少遅れをとりながらも、無難な走りで乗り切りバトンをつなぐ。伊勢田は遅れを取り戻そうと序盤から果敢に飛ばしながら、終盤までよく粘りスピードに乗ったまま3走へ。小沢も順調な走りで順位を一つ上げる。田中は3人で4位集団を形成し、牽制し合いながら走っていく。終盤、抜け出すかに見えたが爆発力に欠け、結局そのままゴール。3'31"29の5着であった。

フィールド

9:30 男子砲丸投 決勝

合田(2年)、田上(2年)、小林(1年)の出場。合田は最初の2投は9m台であったが3投目に10m03とし、4番目の記録でベストエイトとなる。そして、6投目に10m67で逆転、3位で競技を終えた。田上は3投目に8m74を投げぎりぎりベストエイトに入る。その後4投目に8m79を投げ、結局8位であった。小林8m02、8m32、8m52と順調に記録をのぼし、一時はベストエイトも期待されたが、後から記録を伸ばし

てきた選手に抜かれエイトには残れなかった。

9:30 男子走幅跳 決勝

藤田(4年)、吉岡(4年)、竹内(2年)の出場。藤田は3本目までは足が合わない癖が出たが、修正が出来た4本目に7m08を跳び見事1位となった。吉岡は関東インカレで痛めた左足首の影響か思うような跳躍が出来ないが、それでも5本目に6m57を跳び5位。竹内は1本目に6m61を跳ぶが以後思い切った助走が出来ず、それを改善すべくファール覚悟で挑んだ4本目では大ジャンプを見せたが惜しくもファールとなり、結局6m61で4位であった。

10:30 男子棒高跳 決勝

川添(M2)、島田(M1)、持永(2年)の出場。持永はこの試合で15ftのボールにチャレンジ。未だ振り上げができず、3mから開始するもアップライトが合わず記録なしに終わった。島田は関カレでの記録なしの屈辱を晴らすべく出場。踏み切り位置が十分入っているものの助走の安定感を徐々に取り戻し3m60と記録を残し、5位であった。川添は4m60から跳び始めてあっさり優勝を決めると続く4m80も余裕のクリア。5mは惜しくも跳べなかったが関カレ優勝者らしい高い安定感を示した。

10:30 男子走高跳 決勝

藤原(M2)、田中(4年)、宮(2年)が出場した。田中が1m80で1回、宮が1m70で1回失敗したが、1m85までの他の高さは全て1回目でクリアした。1m90からは藤原も競技を開始した。藤原はこれを1回目、田中、宮はこれを3回目でクリアした。藤原は次の1m95も1回でクリアしたが、田中、宮はこれをクリアすることはできなかった。藤原は2m00を2回目でクリアし、1位を確定していたため、バーを越えれば自己ベストとなる2m06に上げたがクリアすることはできなかった。結果、藤原は1位、宮は3位、田中は4位で、合計19点を獲得した。

12:30 女子走幅跳 決勝

小原(2年)、本間(1年)の出場。いい追風の中での跳躍開始。小原は練習跳躍のときは足があわなかったが、1跳目にしっかり足が合い4m39を跳ぶ。その後100mの決勝に出場するため5跳目をパスした以外は跳ぶが、結局記録は伸ばせずに4m39の7位入賞に終わった。本間は1跳目は足があわずにファール、2跳目ちゃんと板にのり4m27。3跳目以降は足があうものの記録を伸ばすことができずに、4m27の8位入賞に終わった。

12:30 男子円盤投 決勝

合田(2年)、庄司(1年)、小林(1年)の出場。合田は、好みのサークルと天候に助けられてか、快調なターンをみせる。記録はベストとなる37m71で、2位であった。庄司は、スタンディングでまずまずにまとめ、初出場ながら、23m17の7位となる。小林は、大学での最初の試合ということもあってか、やや力んでしまい、21m98の9位となった。

14:00 男子やり投 決勝

池田(4年)、持永(2年)、倉員(1年)の出場。池田は一投目にまずまずの投擲で46m61をマークしたが、その後は記録を伸ばせず、結局そのままの記録での6位であった。持永は練習不足のためか投擲がまとまらず、35m14のエイトもれに終わった。倉員はその体格を生かした投擲を行いたいところであったが、やり投初心者ということもあり、3ファールの記録なしに終わった。

14:00 男子三段跳 決勝

藤田(4年)、佐野(2年)、林(2年)の出場。林は足の怪我で練習が不十分な中、六大戦以来の試合出場奮闘。2本目の試技でファールながら距離の出た復活跳躍を見せるも、3本の中で記録を残すことが出来ず、ベストエイトから漏れてしまった。関東インカレ出場組の藤田と佐野は、雪辱を晴らす大ジャンプが期待された。しかし藤田は午前の走幅跳に出場し、さらには同時

間帯に行われた4×100mリレーのアンカーとして走ったこともあり、疲労はピークであった。そのせいか、助走が不十分で踏切が合わず記録は伸び悩み、6本目の試技で14m33の記録を残し2位に終わってしまった。一方の佐野も、最近の不調が尾を引き前半はいまいち距離の出ない跳躍をする。しかしベストエイトに残った後は、4本目に復活の兆しとも言える13m97を跳び、5本目にはジャンプの部分で崩れてしまったものの完全復活を予感させる大跳躍が見られた。結果、4本目の記録13m97で4位であった。

2.3 試合結果**第52回東京地区国公立大学対校陸上競技大会**

於 上柚木公園陸上競技場 (H16.5.22)

100m 決勝 (-1.2)			
1	大林	東学大	10"68
2	高橋	東学大	10"82
3	高橋	東学大	10"90
4	立石	電通大	10"98
5	酒井	一橋大	11"07
6	西町	一橋大	11"08
7	鳴海	電通大	11"25
8	瀧山	東大	11"47

100m 予選			
1組 (+1.1)			
3	瀧山	東大	11"48
3組			
4	三好	東大	11"79
4組			
3	藤本	東大	12"34

200m 決勝 (+1.6)			
1	高橋	東学大	22"17
2	酒井	一橋大	22"19
3	瓦田	一橋大	22"42
4	相川	東大	22"91
5	高橋	都立大	23"04

6	染谷	医歯大	23"48
7	橘	東学大	24"27
8	棟広	一橋大	DNS

200m 予選

1 組 (+1.2)			
3	相川	東大	22"69
2 組 (+0.7)			
3	瀧山	東大	23"28

400m 決勝

1	井上	電通大	49"64
2	松本	東学大	50"27
3	小林	電通大	50"06
4	広瀬	一橋大	50"72
5	伊勢田	東大	50"45
6	宮本	東学大	52"61
7	北嶋	東学大	70"84
8	小田川	東工大	DNS

400m 予選

1 組			
6	小澤	東大	54"34
2 組			
4	田中	東大	53"45
3 組			
1	伊勢田	東大	51"68

800m 決勝

1	石井	東大	1'59"85
2	須藤	東工大	2'00"25
3	庄司	東大	2'00"50
4	大堀	東工大	2'00"88
5	野木	東学大	2'00"91
6	藤村	東農大	2'01"79
7	橋本	東大	2'02"00
8	伊藤	東学大	2'03"47

800m 予選

1 組			
1	石井	東大	2'00"38
2 組			
3	橋本	東大	2'01"59

3 組

3	庄司	東大	2'01"83
---	----	----	---------

1500m 決勝

1	依田	東学大	4'03"61
2	新井	東大	4'03"96
3	中原	東大	4'05"24
4	岩佐	東工大	4'08"88
5	鈴木	東工大	4'09"99
6	千島	東大	4'11"49
7	花田	電通大	4'12"14
8	太田	東学大	4'13"53

1500m 予選

1 組			
3	新井	東大	4'14"69
7	千島	東大	4'21"88
2 組			
4	中原	東大	4'19"24

5000m 決勝

1	松本	東大	14'42"51
2	鵜野	一橋大	14'54"74
3	細谷	電通大	15'19"84
4	依田	東学大	15'23"76
5	石井	電通大	15'28"71
6	木村	東学大	15'33"32
7	村田	東大	15'34"47
8	木村	東学大	15'38"62
11	宮崎	東大	15'51"76

110mH 決勝 (± 0.0)

1	加藤	東工大	15"58
2	田中	東大	15"67
3	藤原	東学大	15"81
4	矢野	東学大	16"35

400mH(タイムレース決勝)

1	北島	東学大	55"19
2	田村	電通大	57"28
3	福島	一橋大	58"18
4	磯部	東大	62"76
5	坂田	東大	63"19

6 大石 医歯大 65"83

4 × 100mR 決勝

1 東学大 41"78
 2 一橋大 42"36
 3 東大 42"78
 4 電通大 42"97
 5 都立大 45"39
 6 医歯大 46"10

4 × 400mR 決勝

1 東学大 3'21"76
 2 電通大 3'22"09
 3 一橋大 3'27"11
 4 東工大 3'30"31
 5 東大 3'31"29
 (磯部-伊勢田-小澤-田中)
 6 都立大 3'32"81
 7 医歯大 3'38"14
 8 外語大 3'40"57

走高跳決勝

1 藤原 東大院 2m00
 2 増田 都立大 1m90
 3 宮 東大 1m90
 3 田中 東大 1m90
 5 石川 一橋大 1m85
 6 滝田 東学大 1m85
 7 黒田 東学大 1m85
 8 矢野 東学大 1m80

棒高跳決勝

1 川添 東大 4m80
 2 藤巻 東学大 4m40
 3 日向 東学大 4m20
 4 武田 一橋大 4m10
 5 今城 東学大 3m80
 6 島田 東大 3m60
 - 持永 東大 NR

走幅跳決勝

1 藤田 東大 7m08(+2.3)
 2 村上 都立大 6m82(+1.4)

3 藤原 東学大 6m77(+1.6)
 4 竹内 東大 6m61(+1.1)
 5 吉岡 東大 6m57(+1.5)
 6 森下 東学大 6m31(+2.5)
 7 瓦田 一橋大 6m15(+1.5)
 8 滝田 東学大 6m09(+1.4)

三段跳決勝

1 藤原 東学大 14m65(+0.9)
 2 藤田 東大 14m33(+1.2)
 3 木村 東学大 14m24(+1.3)
 4 佐野 東大 13m97(+1.1)
 5 村上 都立大 13m74(+0.5)
 6 森下 東学大 13m61(0.0)
 7 長岡 外語大 12m53(+0.9)
 8 高木 都立大 12m47(+1.8)
 - 林 東大 NR

砲丸投決勝

1 加藤 東学大 12m22
 2 直井 東学大 11m23
 3 合田 東大 10m67
 4 中山 東学大 10m41
 5 栗原 一橋大 9m58
 6 金子 海洋大 9m33
 7 諏訪部 都立大 9m14
 8 田上 東大 8m79

円盤投決勝

1 小田嶋 東学大 39m57
 2 合田 東大 37m71
 3 加藤 東学大 37m37
 4 栗原 一橋大 31m95
 5 井上 東学大 29m35
 6 諏訪部 都立大 24m56
 7 庄司 東大 23m17
 8 溝延 都立大 22m37

やり投決勝

1 井上 東学大 55m12
 2 諏訪部 都立大 52m85
 3 金子 海洋大 51m88
 4 木村 東学大 51m79

5	金子	農大	46m75
6	池田	東大	46m61
7	川合	東学大	45m62
8	中田	都立大	44m41

トラック順位

1	東京学芸大学
2	東京大学

フィールド順位

1	東京学芸大学
2	東京大学

総合順位

1	東京学芸大学
2	東京大学

100m 決勝 (+2.3)

1	西尾	東学大	12"97
2	藤澤	東学大	13"17
3	小原	東大	13"32
4	阿蘇品	一橋大	13"57
5	上原	一橋大	13"83
6	長谷川	外語大	13"88
7	内藤	医歯大	14"31
8	平石	外語大	DNS

100m 予選

2 組 (+1.0)			
2	小原	東大	13"27

400m 決勝

1	高木	東学大	60"95
2	土田	東学大	61"52
3	深見	外語大	65"77
4	高宮	お茶大	66"33
5	小松	外語大	67"15
6	松橋	医歯大	70"47

800m(タイムレース決勝)

1	前野	東学大	2'15"03
2	目黒	東大	2'19"24
3	江達	東学大	2'20"52

4	小町谷	都立大	2'20"83
5	向田	東大	2'28"20
6	山内	都立大	2'38"99
7	羽田	医歯大	2'42"14
8	沢野	お茶大	2'45"88

800m 予選

1 組			
3	向田	東大	2'30"71
2 組			
1	目黒	東大	2'27"80

3000m 決勝

1	富山	東学大	9'48"45
2	牧原	東学大	10'12"87
3	小町谷	都立大	10'39"14
4	大島	都立大	11'24"16
5	松岡	外語大	11'33"79
6	辻	医歯大	11'41"42
7	清水	東大	11'55"45
8	長井	医歯大	11'56"72

4 × 100mR 決勝

1	東学大	49"73
2	一橋大	55"75
3	東大	56"06
4	外語大	56"13
5	医歯大	57"46
6	お茶大	61"89

走幅跳決勝

1	高坂	東学大	5m16(+1.2)
2	松下	東学大	5m15(+1.5)
3	小松	外語大	4m65(+2.1)
4	三上	一橋大	4m59(+1.0)
5	長谷川	外語大	4m49(+0.8)
6	松田	都立大	4m43(+0.3)
7	小原	東大	4m39(+2.2)
8	本間	東大	4m27(+2.1)

やり投

1	高畠	東学大	41m27
2	高坂	東学大	35m82

3	阿蘇品 一橋大	29m46
4	松田 都立大	27m13
5	天田 外語大	25m42
6	深見 外語大	22m59
7	辻 医歯大	18m40
8	鈴木 お茶大	13m65

トラック順位	
1	東京学芸大学
2	東京大学

フィールド順位	
1	東京学芸大学
2	東京大学

総合順位	
1	東京学芸大学
2	東京大学

3 2004年度部内5傑 2004.5.22 現在

男子 100m

1	米田 武史 (3年)	10"69(+0.6)	5.1
2	式場 健太 (4年)	11"14(+0.1)	5.15
3	相川 啓佑 (2年)	11"39(+1.3)	4.24
4	瀧山 健 (2年)	11"41(+1.3)	4.24
5	三好 信哉 (2年)	11"72(+1.5)	5.22

男子 200m

1	米田 武史 (3年)	22"12(+0.5)	5.15
2	相川 啓佑 (2年)	22"69(+1.2)	5.22
3	瀧山 健 (2年)	23"28(+0.7)	5.22

男子 400m

1	堀内 壮太 (6年)	50"25	5.1
2	伊勢田 明弘 (2年)	50"99	5.22
3	田中 佑貴 (3年)	52"4	3.28
4	米田 武史 (3年)	52"7	3.28
5	持永 新 (2年)	54"01	4.24

男子 800m

1	村井 昂志 (3年)	1'57"67	4.29
2	庄司 一郎 (3年)	2'00"50	5.22
3	橋本 淳 (2年)	2'01"59	5.22
4	新井 邦生 (2年)	2'01"6	3.27

男子 1500m

1	新井 邦生 (2年)	4'03"96	5.22
2	中原 健二 (3年)	4'05"24	5.22
3	庄司 一郎 (3年)	4'11"3	3.28
4	千島 悠司 (2年)	4'11"49	5.22
5	大村 泰平 (2年)	4'19"2	3.28

男子 5000m

1	松本 翔 (1年)	14'30"82	5.17
2	村田 拓哉 (3年)	15'34"47	5.22
3	中原 健二 (3年)	15'47"8	3.27
4	宮崎 哲平 (3年)	15'49"90	4.29
5	岡田 良平 (2年)	15'50"79	4.29

男子 10000m

1	松本 翔 (1年)	30'03"94	5.14
---	-----------	----------	------

男子 110mH

1	田中 啓 (4年)	15"48(+1.3)	5.1
2	梅沢 啓 (2年)	15"80(-1.3)	5.16
3	持永 新 (2年)	19"86(+1.7)	4.24

男子 400mH

1	磯部 洋輔 (2年)	61"7	3.28
2	坂田 祐輔 (2年)	62"9	3.28

男子 3000mSC

1	深瀬 剛正 (4年)	9'38"44	4.18
2	岡田 良平 (2年)	10'11"09	4.18
3	清松 啓司 (4年)	10'24"21	4.4
4	大村 泰平 (2年)	10'43"46	4.4

男子 10000mW

1	春木 洋輔 (5年)	44'36"6	3.28
2	深尾 宙彦 (2年)	51'56"1	3.28

男子 ハーフマラソン

1	門脇 充典 (3年)	83'07	4.11
---	------------	-------	------

男子 走幅跳

1	竹内 昌男 (2年)	7m15(+0.8)	4.25
2	藤田 靖浩 (4年)	7m13(-0.1)	5.2
3	吉岡 和夫 (4年)	6m90	4.18
4	相川 啓佑 (2年)	6m63	4.25

男子 三段跳

1	藤田 靖浩 (4年)	14m66	5.1
2	佐野 太郎 (2年)	13m97	5.22
3	林 盛 (2年)	13m02	4.4

男子 走高跳

- | | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 田中 啓 (4 年) | 1m90 | 5.22 |
| 1 | 宮 正彦 (2 年) | 1m90 | 5.22 |

男子 棒高跳

- | | | | |
|---|------------|------|------|
| 1 | 持永 新 (2 年) | 3m80 | 3.28 |
|---|------------|------|------|

男子 砲丸投

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 合田 隆彦 (2 年) | 10m88 | 4.25 |
| 2 | 持永 新 (2 年) | 9m04 | 3.27 |
| 3 | 田上 遼 (1 年) | 8m79 | 5.22 |
| 4 | 小林 宗隆 (1 年) | 8m52 | 5.22 |

男子 円盤投

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 合田 隆彦 (2 年) | 37m71 | 5.22 |
| 2 | 倉員 智瑛 (1 年) | 26m73 | 5.22 |
| 3 | 持永 新 (2 年) | 23m26 | 4.25 |
| 4 | 庄司 宇 (1 年) | 23m17 | 5.22 |
| 5 | 池田 大行 (4 年) | 22m50 | 4.4 |

男子 やり投

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 池田 大行 (4 年) | 47m03 | 5.17 |
| 2 | 持永 新 (2 年) | 37m50 | 3.28 |

女子 100m

- | | | | |
|---|-------------|-------------|------|
| 1 | 小原 明恵 (2 年) | 13"27(+1.0) | 5.22 |
| 2 | 津村 瑛子 (4 年) | 14"82(+1.3) | 5.22 |

女子 400m

- | | | | |
|---|--------------|-------|------|
| 1 | 塩入 敦子 (4 年) | 58"80 | 5.16 |
| 2 | 目黒 亜由子 (4 年) | 61"34 | 4.24 |

女子 800m

- | | | | |
|---|--------------|---------|------|
| 1 | 目黒 亜由子 (4 年) | 2'16"40 | 5.15 |
| 2 | 向田 恵 (2 年) | 2'28"20 | 5.22 |

女子 1500m

- | | | | |
|---|------------|---------|------|
| 1 | 向田 恵 (2 年) | 4'57"56 | 4.29 |
|---|------------|---------|------|

女子 3000m

- | | | | |
|---|-------------|----------|------|
| 1 | 清水 理紗 (2 年) | 11'55"45 | 5.22 |
|---|-------------|----------|------|

女子 400mH

- | | | | |
|---|-------------|-------|------|
| 1 | 塩入 敦子 (4 年) | 62"06 | 5.14 |
|---|-------------|-------|------|

女子 走幅跳

- | | | | |
|---|-------------|------------|------|
| 1 | 小原 明恵 (2 年) | 4m35(+1.7) | 5.22 |
| 2 | 本間 諒子 (1 年) | 4m23(+1.1) | 5.22 |

女子 棒高跳

- | | | | |
|---|-------------|------|------|
| 1 | 本間 諒子 (1 年) | 3m00 | 5.14 |
|---|-------------|------|------|

4 主務より

関東インカレの応援に駆けつけて下さった OB・OG の方々を卒年順敬称略でご紹介いたします。
ありがとうございました。

5 月 14 日 (金)

1979 年卒 中谷 敬二

5 月 15 日 (土)

1948 年卒 山崎 英也

1957 年卒 竜沢 俊文

1958 年卒 浦野 穂昌

1964 年卒 八島 秀雄

1988 年卒 寺田 秋夫

2000 年卒 藤原 大二

2001 年卒 西村 邦裕

2004 年卒 中西 紅美

2004 年卒 岸田 陽子

2004 年卒 下野 豊和

2004 年卒 村口 和人

5 月 16 日 (日)

1948 年卒 山崎 英也

1952 年卒 澤島 政行

1958 年卒 浦野 穂昌

1982 年卒 室城 信之

1999 年卒 関根 福太郎

2002 年卒 関水 康伸

2004 年卒 村口 和人

5 月 17 日 (月)

1952 年卒 澤島 政行

1988 年卒 寺田 秋夫

1993 年卒 前田 幸男

1999 年卒 明石 顕

2001 年卒 西村 邦裕

(卒年順敬称略)

文責：平野茉来, 山口健介